

第1章 道の駅「那須高原友愛の森」の現状

1-1 現状把握

1) 友愛の森の立地条件

道の駅「那須高原友愛の森」(以下「友愛の森」)は町西部、標高約470mにあり、那須町観光の主要道路である県道17号那須高原線(以下「県道17号」)と県道30号矢板那須線(以下「県道30号」)の交差点付近に位置している。

交通条件としては、東北自動車道那須インターから車で約10分、那須高原SAスマートインターから車で約20分、東京方面と仙台方面から車で共に約2時間の位置にある。公共交通機関を利用すると、JR宇都宮線黒磯駅からバスで約15分、東北新幹線の停車駅であるJR那須塩原駅からはバスで約30分の位置にある。近年は、東京方面からの高速バスの乗り入れも行われるようになり、町内の観光施設を巡回するキュービー号や、民間交通会社の路線バス、民間施設の送迎バスなどが乗り入れ、公共交通の利便性も確保されつつある。



道の駅那須高原友愛の森全景

2) 友愛の森の変遷

友愛の森は、「那須町観光振興基本計画(昭和59年11月策定)」において、旧広谷地中学校跡地である敷地面積約2.9haの町有地を活用し、町の文化、スポーツの拠点施設としての整備が位置づけられたのが始まりである。

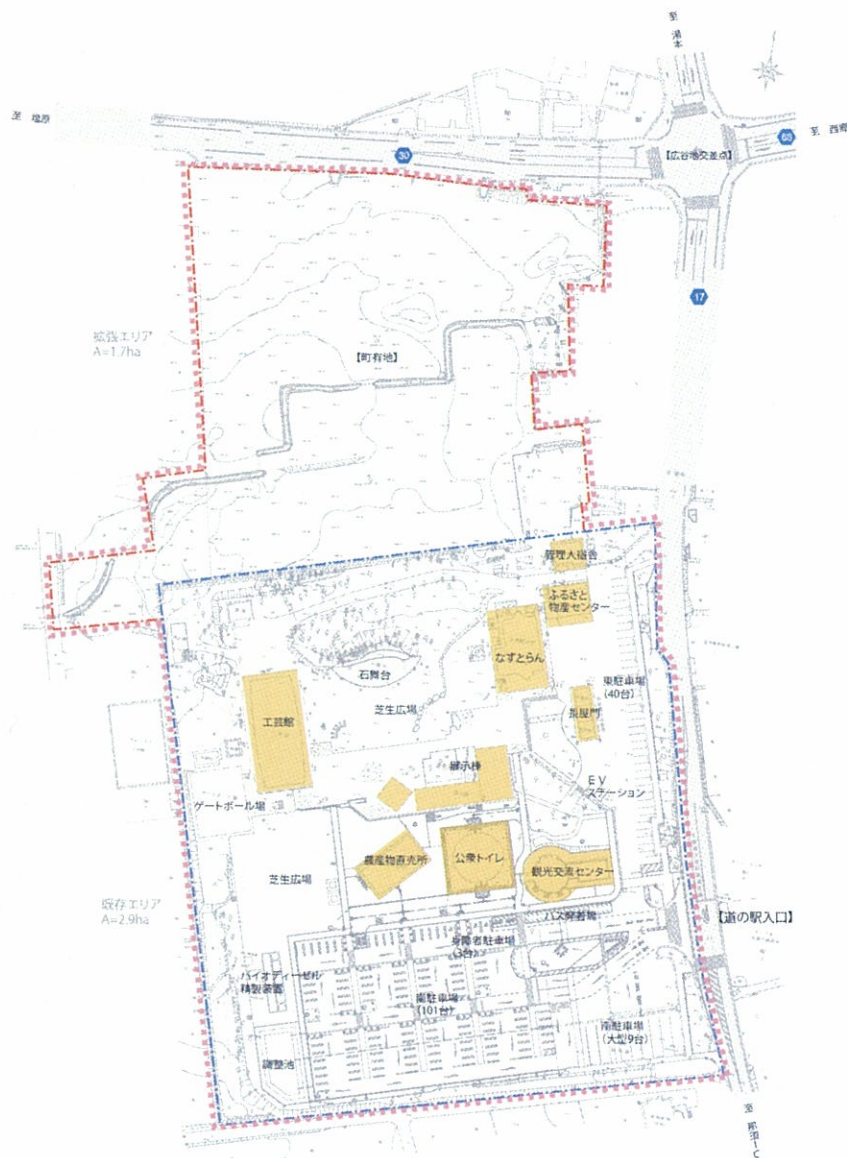
その後、昭和63年7月の現場制作、展示型の「彫刻シンポジウム」を経て、同年8月から名称を「那須友愛の森」と改めてオープンした。当時、整備された施設は、ふるさと物産センター、工芸館、展示棟、自然観光館(現なすとらん)であった。

平成9年4月には、自動車観光の増加に対する休憩施設の必要性和道の駅制度の普及などから町観光の玄関口として、名称を「那須高原友愛の森」と変更し、道の駅に登録された。そして、道の駅の機能充実のため、平成13年3月にグラウンドの駐車場への改修が行われ、

平成16年4月には長屋門が那須観光情報館として供用された。しかし、当時は、駐車場の駐車台数も少なく、トイレも老朽化し、観光情報もほとんどなかったため、全国的にも知名度の低い道の駅であった。

そこで、町では、増加する利用者ニーズに対応するため、平成17年3月に「那須高原友愛の森整備基本計画」を策定し、平成17年度から国のまちづくり交付金事業を導入し、公衆トイレ、観光交流センター、駐車場等の整備を行うとともに、栃木県の補助事業を活用し農産物直売所をオープンさせた。また、平成19年には那須の食レストラン「なすとらん」が整備されるなど、施設の魅力向上を行った。

その後も、東京往復の高速バスの乗入れや、農産物直売所の拡張、ふるさと物産センターのリニューアル、電気自動車用急速充電施設（EVステーション）の設置、バイオディーゼル精製装置の設置など、多様な要素が盛り込まれて現在に至っている。



道の駅那須高原友愛の森現況平面図

3) 施設の現状

平成17年の友愛の森の入込数は15万人程度と推測されていた。そこで、平成17年3月策定の「那須高原友愛の森整備基本計画」では、整備後の入込目標を約3倍の50万人に設定した。その目標は、平成19年度には入込数が50万7千人となり、早々と達成することとなった。

しかし、それに伴い年間入込50万人を基準に設計されていた施設では、駐車場やトイレの不足が生じ、施設運営に支障を来している。また、同時に農産物直売所の売場面積やレストランの客席が不足し、売上高も頭打ちとなっている現状であり、新たな対応策が必要とされていた。

そのため町では、平成24年度に隣接地約1.7haを取得し、既存エリアと合わせてさらなる道の駅の機能強化を図るべく、平成26年7月に整備目的やコンセプト、導入施設などを検討し、建物構成や運営、空間のイメージなどについて大筋の方針決定をした「道の駅那須高原友愛の森総合計画」を策定した。

その後、平成27年1月には、国際観光地として外国人観光客対応に向けた機能強化が期待されるとして、国土交通省の『重点「道の駅」』に認定され、国の支援を受けながら再整備を進めることになった。また同年3月には、国のビジットジャパン事業を推進する主要案内所として「外国人観光案内所」に認定され、インバウンド観光の拠点としての機能充実が求められている。

更に、当町では友愛の森の位置する高原地区の防災拠点の不足が指摘されていたが、同年4月に「那須町地域防災計画」において、友愛の森が地域の広域避難場所に指定された。東日本大震災を教訓に地域の防災拠点にとどまらず、災害時の観光客の緊急的な避難場所としての役割も期待されている。

4) 施設の概要

現在、道の駅を構成する主な施設は以下のとおりである。

- 駐車場（普通車155台、大型車9台、身障者用3台、臨時123台、合計290台）
- 観光交流センター・アグリ情報館（観光情報提供、各種チケット等販売）
- ふれあいの郷直売所（農産物直売、軽食）
- 那須の食レストラン「なすとらん」（飲食提供）
- ふるさと物産センター（物産品の販売、軽食）
- 工芸館（工芸体験、販売）
- 公衆トイレ（男子14、女子14、多目的2）
- 電気自動車用急速充電器 1台
- その他（展示棟、石舞台、屋外彫刻、長屋門
ゲートボール場）



展示棟

5) 友愛の森周辺の状況

観光シーズンにおいては、隣接する那須観光の主要道路である県道 17 号及び県道 30 号が交差する広谷地交差点において 4 方向の交通渋滞が発生する。友愛の森の駐車場出入口付近において生じる混雑が、那須高原線の渋滞の一因となっている。

友愛の森の現在の駐車台数

普通車	155 台
大型車	9 台
身障者	3 台
臨時駐車場	123 台
合計	290 台



友愛の森出入り口の混雑状況 (H25.10)